

道徳科学習指導案

令和元年11月 日 () 第3校時 () 2年 組教室
小学校 2年 組 指導者

授業の視点

主人公の気持ちを考える場面において、気持ちをワークシートに書いたり、心情円に表したりしながら意見交流することにより、約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にしようとする心が養われるであろう。

1 主題名 「みんなのものを大切に」(C-12) 規則尊重

2 主題設定の理由

(1) 価値観

本主題は、学習指導要領の第1学年及び第2学年の内容項目C-12「約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。」を受けて設定している。約束やきまりは、みんなが気持ちよく安心して過ごすためにあることを理解した上で、しっかり守ろうとする態度やみんなで使う物や場所を進んで大切に、工夫して大切にしたいという態度を養おうとする内容である。

この時期の児童は、まだ自己中心性が強く、ともすると、周囲への配慮を欠いて自分勝手な行動をとることも少なくない。また、身の回りの公共物や公共の場所の使い方や過ごし方について、どうするのがよいのか、そしてそれはなぜなのかといった理解は十分とはいえない。社会生活を営む上で、約束やきまりを守り、公共物を大切にするという気持ちを十分に持ち、実践していくことは重要なことであるため、本主題を設定した。

(2) 児童の実態

(3) 資料観

本時で取り上げる資料は、「きいろいベンチ」(出典：東京書籍『新しいどうとく2』)である。

たかしとてつおは、近くの公園に遊びに行く。紙飛行機をより遠くに飛ばす遊びをして夢中になっている。遊びに夢中になっている2人は、自分たちが泥だらけの靴でベンチを汚していることに気付いていない。そこへ女の子を連れて、おばあさんがやって来る。女の子はその汚れたベンチに腰をかけてしまったために、スカートを汚してしまう。汚れたスカートをふくおばあさんと女の子の会話を聞いた、たかしとてつおは「はっ」として顔を見合わせる。というお話である。

自分本位な行動が、他人に迷惑をかけてしまったことに気付き、反省する主人公の姿は、子どもたちの生活場面でも、身近にあり得ることである。たかしとてつおの行動や気持ちに共感しながら、公共物を大切に、約束やきまりを守ることの大切さに気付かせるのに適した資料である。

3 指導方針

- ・導入で、みんなが使う物として、学級のボールなど、身近な物を写真で提示することで、価値への方向付けができるようにする。
- ・話の内容や、場面、主人公の気持ちの変容をしっかりと感じ取れるようにするために、人物絵や場面絵を効果的に活用する。
- ・心情円を用いることにより、登場人物の考えや気持ちにより深く迫れるようにし、自分の考えをしっかりと持って話し合い活動ができるようにする。
- ・登場人物の気持ちをワークシートに書く活動を設定することで、一人一人の価値についての考えや思いを深められるようにする。
- ・他者と対話し、協働しながらよりよい方向を探る資質能力を身につけさせるために、普段の道徳の学習中から、児童同士の交流を大切に学習させる。
- ・話し合い活動が活発なものになるようにするために、座席をコの字型にする。
- ・校内研修の研修主題、「自分の考えをもち、自分の言葉で伝えられる児童の育成～特別活動における話し合い活動の充実を通して～」をうけて、友達の意見を自分の意見を比べながら聞く場を設定する。

4 本時の学習

(1) ねらい

約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にしようとする態度を養う。

(2) 準備

児童：教科書、心情円

教師：ワークシート、掲示物（場面絵、登場人物の絵）、範読CD、掲示用心情円

(3) 展開

過程	学習活動	○主な発問（中心発問） ・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点
課題をつかむ	1 みんなが使う物について考える。	○みんなが使う物って何がある？ トイレ、水道、教室、校庭	5	・身のまわりには、みんなが使う物がたくさんあることを意識させ、価値への方向付けができるようにする。
めあて：みんなが使うものの使い方を考えよう。				
価値を追究する	2 資料「きいろいベンチ」を読んで話し合う。 (1) ベンチの上ののって、紙飛行機を飛ばしている主人公の気持ちについて考える。	(「きいろいベンチ」を読む。) ○「何度も何度も夢中で紙飛行機を飛ばしたとき、二人はどんな気持ちだったかな。」(発問1) ・楽しい ・おもしろい ・高いところから飛ばすと気持ちがいいな。 ・紙飛行機がすうっと飛んでいてきもちがいい。 ・もっと遠くに飛ばしたいな。	25	・登場人物やあらすじを人物絵等であらかじめ整理し、教材内容を理解できるようにする。 ・高いところから紙飛行機を飛ばすと、よく飛んで気持ちがいいと思う主人公の気持ちを考えられるようにする。(心情円) ・ベンチの上に乗ったことで、ベンチを泥だらけにしてしまったことをおさえる。(2人は悪く思っていない)

	(2)「はっ」として顔を見合わせた時の2人の気持ちを考える。	<p>◎「はっ」として顔を見合わせた2人はどのような気持ちだったでしょう。(中心発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕たちのせいで女の子のスカートが汚れちゃった。 ・おばあさんに怒られるかな。 ・女の子は悪くないのに悪いことをしてしまったな。 ・ベンチの上に乗って、自分たちが楽しむことばかりを考えていたな。 ・みんなで使うベンチだからきれいにつかわないとだな。 ・自分勝手に使っていると他の人がいやな気持ちになるんだな。 <p>○ベンチに泥靴で乗る前に、どんなことを考えればよかったのかな。(補助発問)</p>		<p>い)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめ、黄色いベンチに乗って気持ちよく遊んでいた2人が、女の子とおばあさんのやりとりを見て、気持ちを変化させる部分に気づけるようにする。(心情円) ・公共物は大切に使うべきということをおさえた上で、なぜ大切に使わないといけないのかというところまで考えられるように話し合いを進める。 ・補助発問を通して、自分本位の行動が、自分の想像を超えて、他者に迷惑をかける可能性があることに気付かせる。
価値を自覚する	3 めあてに沿ったまとめを行い、自分自身の生活を振り返る。	<p>○「ベンチなど、みんなの物を使う時に考えなくてはならない大切なことは、何だろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の人のことを考えること。 ・みんなが気持ちよく使うために、ルールやマナーを守る。 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなの物を使うときに、大切なことは～」という形で、簡潔にまとめられるようにする。
振り返る	4 今日の道徳で学んだことを振り返り、ワークシートに記入する。	<p>○今日の道徳で学んだことは何ですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなで使う物」は大切に使う。 ・自分だけが楽しいのではなくて、みんなが気持ちよく使えるようにしたいな。 ・次に使う人の気持ちまで考えて使わないといけないな。 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな考えを聞いた上で、もう一度自分の考えと照らし合わせ、振り返られるようにする。 ・本時で学んだことを今後の生活で生かすために、「認め」、「励ます」ことで、後押しできるようにする。

きいろいベンチ

ボール
の写真

食器
の写真

学級文庫
の写真

めあて・みんなが使うものの使い方を考えよう。

○何どもむちゅうで紙ひこうきをとばした時、2人は
どんなきもちだったかな？

楽しそうに
紙ひこうき
をする2人の絵



- ・たのしい。
- ・おもしろい。
- ・たかいところからとばすときもちい。

こまった顔の女
の子とおばあさ
んの絵



女の子のスカートが
よごれた！！

○はっとして顔を見合わせた2人は、どんなきもちだったか
な？

はっとする
2人の絵



- ・僕たちのせいで女の子のスカ
ートが汚れちゃった。
- ・女の子は悪くないのに、悪い
ことをしてしまったな。
- ・みんなが使うベンチだから
きれいにつかわないとだ
な。

○みんなが使うものを使う時に大切なことは？

○今日の学習で学んだこと